

## 重点施策 2 確かな学力を育む教育課程の編成と実施

### 【施策方針】

- 確かな学力の定着と向上
- 内面に根ざした道德性の育成
- 個性の伸長、集団の一員としての自覚及び自主的・実践的態度の育成
- 自ら学び、自ら考え、よりよく問題を解決する能力や態度の育成

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 学習指導
- ② 道德教育、特別活動、総合的な学習の時間
- ③ 外国語（活動）（小学校）
- ④ 情報・視聴覚教育
- ⑤ ふるさと教育
- ⑥ 研究事業等

#### (2) 施策・事業の実施状況

##### ① 学習指導

各校で、これまでの実践を積み重ね、一人一台端末の効果的な活用を合わせて学力の向上に努めてきた。クラウド型の学習支援ツール「ロイロノート・スクール」や「Google Workspace」を使い、教員は課題や問題を配付し、子供たちはそれを端末で確認し、学習を進め、自分の意見や考えをクラウドにアップしていき、情報共有するという一連の学習の流れで効率よく学びを深めている。この学習展開がスムーズに行われるようになってきた。半面、端末を活用する頻度が多くなることで、端末の活用慣れてきたが、書く活動や話し合い等の言語活動の時間を十分にとることができるかなどの検証をする必要がある。言語活動を通して、表現力、コミュニケーション能力を高める必要があることは、長年、課題として言われていることである。ゆえに、愛媛県教育委員会が推奨している従来の学習指導方法とICT活用とのベストミックスを目指す必要がある。

不登校の児童生徒や、新型コロナウイルス感染症対応等が理由で登校できない児童生徒に対して学びの保障の観点から、一人一台端末を活用したオンラインでの授業も継続的に行っており、効果的な活用ができています。また、複数校で実施する修学旅行や自然体験活動の事前の学校間交流や他市町の学校との交流にもオンラインによる一人一台端末を活用するなど、目的に応じた端末の活用を行っている。

学校教育活動指導員を、4校（白浜小、江戸岡小、神山小、宮内小）に配置し、人数の多い学級における少人数指導に取り組み、個に応じた学習指導の充実に努め、成果を上げている。

##### ② 道德教育、特別活動、総合的な学習の時間

授業研究を通して、主発問や問い返しの発問、ロイロノートの思考ツール等を活用し

研究を深めることができた。

総合的な学習の時間部会では、夏季研修会で統合に向けた各地域の伝統や歴史等を学ぶふるさと学習の在り方について、各校の現状を共有しながら、小・中別のグループ協議を行った。学校と地域との連携の在り方を吟味し、地域人材リストの作成や活用等について具体的な方策について協議することができた。

### ③ 外国語活動(小学校)

A L T 4名と外国語指導助手コーディネーター1名を配置し、小学校の外国語科・外国語活動担当教諭の指導力の向上やA L Tを効果的に活用した小学校低学年の外国語教育の研究に取り組んだ。

小中合同外国語部会においては、中学校外国語科の授業研究を通して、小小、小中連携の在り方や今年度新しくなった小学校5年生の外国語科の教科書を各中学校に配布するなどして、系統的な指導について研修を深めることができた。

### ④ 情報・視聴覚教育

夏季実技研修会では、I C T支援員を講師に迎え、年度更新にかかるアカウントの管理の在り方、Google Chat やスプレッドシートの活用、E I L Sやロイロノートの活用方法に至るまで、具体的な活用方法を学ぶことができた。課題としては、デジタル教科書の活用をはじめ、C B Tシステムの導入が急速に進んでいる中、教員のスキルアップが一層求められている。各校におけるI C T活用能力の向上のための具体的な研修の在り方について研究していく必要がある。また、学校教育におけるA Iの活用についても検証する必要がある。

### ⑤ ふるさと教育

地域に受け継がれてきた伝統や文化・歴史などについて調べる学習を行っている。その際、地域の方々とのかかわりを大切にするとともに、幅広く情報を集め、公民館やボランティアの協力を得ながら、地域の実状に応じた学習活を行っている。これらの学習活動は、学んだ知識を深める学習となるばかりでなく、地域の人々との絆を深める活動にもなっている。小学校では、市教研社会科部会の教員を中心に作成した「八幡浜のくらし」を使用し郷土を愛する心を育む学習の充実を図っている。

中学校では、キャリア教育の中で、市長部局や大学と連携し、「職場体験」「中学生版の合同会社説明会」「中学生と大学生のカタリバ」を開催し、ふるさとのよさを実感できる学習活動を今年度も継続実施し、生徒の将来を考えるきっかけとなっており、成果を上げている。

### ⑥ 研究事業等

次の学校等が研究指定を受け、教育実践を通して児童生徒の生きる力の育成に成果を上げた。

- 学校防災教育実践モデル地域研究事業（松蔭小学校）（協力校：白浜小学校）

### 【事務事業点検評価委員意見】

- 全国学力・学習状況調査質問紙調査による「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」の質問に対して、小学校では、肯定的な回答をした児童の割合が87%と非常に高い。また、中学校においては、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考

えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」の質問に対して、90%以上の生徒が肯定的な回答をしている。各学校においては、学校の課題に沿った校内研究の主題をもとに授業改善に取り組んだことから、ペアやグループによる対話や思考ツール等を効果的に活用した話し合い活動を行い、自分の考えと他者の考えを比較する児童生徒の姿につながることができている。

- 全国学力・学習状況調査質問紙調査による「授業の内容がよく分かる」の質問に対して、小学校では、国語科、算数科ともに肯定的な回答をした児童の割合が全国と県を上回っている。中学校では、数学科において肯定的な回答をした生徒の割合が全国と県を大幅に上回っているが、国語科が若干下回っている。「国語の勉強は好き」と回答した生徒の割合もやや低い。「国語の勉強は大切だ」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」の質問に対しては、肯定的な回答をした生徒の割合が100%に迫っており、国語を学ぶことの意義を十分理解していることがうかがえる。中学校国語科への指導において、小学校に実施した「3領域」の育成に向けた指導内容を小中合同の教科部会等を通じて共有し、系統性を意識した授業につなげていただきたい。
- 教育委員会指導・助言の下、各学校では、全国学力・学習状況調査などの結果から児童生徒の状況や学校の取組について客観的に把握し、課題解決のプロセスをロードマップに示し、指導の改善に生かしているほか、自校の調査結果を踏まえた学力向上推進プランを作成し、すべての児童生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」や「協働的な学び」の実現に向けて、ICTを活用した授業改善に取り組んでいる。
- 本市は、令和6年度全国学力・学習状況調査の質問紙において、「学習の中でICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる」「学習内容がよく分かる」と回答した児童生徒の割合が90%を超えている。肯定的な回答が全国を大幅に上回っており、端末の活用を積極的に推進していることがうかがえる。令和6年度から保内中学校に新設された校内サポートルームでは、登校できない生徒に対し、教員とICT支援員がリモートで授業を行うなど、コミュニケーションをとりながら手厚い支援を続けており、大変ありがたい。
- 端末活用については、効果的・発展的に活用する段階に入ったと言われている。端末を使う便利さを実感させ、学習効果が上がる取組をぜひ推進していただきたい。また、授業支援のアプリは、自分の考えを深める点で大変効果的である。これからの社会は、自分で考えを持ち、他者と協働して歩む時代となる。端末を活用しつつ、協働的な学びに関しても取組の強化をお願いしたい。
- 学校では、人としてよりよく生きるための基盤となる道徳性を育むために、日常的な生活場面を含む学校生活全体を通して指導するという「教えること」と、「特別の教科 道徳」の授業を中心として内面的資質を育成するという「育てること」を共に大切にしながら、互いに関連付けて指導する「教え育てる道徳教育」を推進している。また、言語活動、読書活動、体験活動及び社会参加活動等に積極的に取り組み、児童生徒が、人や社会、自然などとの豊かな関わりの中で、様々な経験を通して道徳性を養うように努めている。
- 小学校では、外国語（活動）担当教員とALTに外国語指導助手コーディネーターが加わり、3者によるチームティーチングを通して、外国語や外国の文化・習慣に慣れ親しみ、外国語でコミュニケーションを図ることへの興味・関心の高揚を図っている。中学校では、

英語担当教員とALTとのチームティーチングを通して、生徒の英語によるコミュニケーション能力や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、4技能をバランスよく育成するための授業改善を進め、英語担当教員の指導力の向上を図っている。ALTにより表情豊かな生きた外国語を学び他国の文化に触れることは意義深い。また、ALTの学校訪問・研修を、年間を通して行うことによって、ALTの指導力を向上させ、外国語教育の充実を図ることができている。

- 子供たちが自ら学ぶ原動力を培うために、今後も多様な学びの場や教育環境の整備を進めていただきたい。併せてロイロノート・スクールやGoogle Workspaceなど学習支援ツールを効果的に活用した授業改善を図るため、今後もスキルアップ研修を一層充実させていきたい。
- 小学校では、「八幡浜の暮らし」という教材を積極的に活用しており、令和6年度から改訂版を児童に配付している。児童がふるさと八幡浜への愛着や誇りを持ち、よりよく生きるための基盤につながるよう工夫している。また、中学校においては、「中学生版の合同企業説明会」「中学生と大学生のカタリバ」などを実施し、将来にわたりふるさと八幡浜に誇りと愛着を持ち、将来の八幡浜市を担う人材の育成に努めている。これらの取組を今後も継続していただきたい。

#### 【自己評価】

- 全国学力・学習状況調査の結果を受けて、市内全体の傾向と課題を検証し、校長会等で課題解決に向けた具体的な方策について指導助言している。また、各校においては、学力向上推進主任を中心に、児童生徒の学力について検証し、課題を確認し、その課題可決に向けた具体的な方策を検討したうえで、日々の学習指導につなげている。学力向上推進計画を立案し、実践を積み重ねるとともに、きめ細かな対応と、全教職員が協働しながら取り組むことで、児童生徒の学力向上につながっている。特に、学力向上の鍵は、授業改善にあるという共通認識の下で、教員の指導力の向上を推し進めていきたい。委員ご指摘の『知識・技能』『思考力・判断力・表現力』『学びに向かう力・人間性』の3領域について、中学校国語科でも生かせるよう、指導内容を整理して共有していくとともに、今後の小中合同の教科部会において、単元ごとの系統性や児童生徒の実態を踏まえながら情報交換を進め、中学校の授業改善につなげるよう教育委員会として指導助言していきたい。
- 一人一台端末については、児童生徒、教職員共にスムーズに活用することができている。今後も多様な学びの場や教育環境の整備を進めるとともに、ロイロノート・スクールやGoogle Workspaceなどの学習支援ツールを効果的に活用した授業改善について、研修を一層充実させていく。委員ご指摘のように、授業における端末の活用については、効果的・発展的に活用する段階に入ったと考えている。思考ツールを活用して、自分の考えを広げ、それらを一瞬にして共有できるのがICTの強みである。そのような端末を使う便利さを実感させるとともに、どの場面で、どんな内容の学習の中で、どのように活用していけばよいかなど、学習効果を高める指導方法を工夫改善していきたい。一方で、端末を使わない方が学習効果が得られる場合や、教員の強みを生かした指導法など、児童生徒が伸びる授業実践を推進するよう指導助言を行う。また、自分で考えを持ち、他者と協働して学ぶ魅力的な授業

を目指したい。

- 人格を形成していくうえで、道徳教育は心の教育の要と言える。道徳の時間を軸に、全教育活動の中で心を育てるための教育課程の編成と実施について指導助言を行っていく。さらに、特別活動における体験活動を通して、実感を伴った教育を目指す。豊かな自然に囲まれた本市において、学校内外の人材を活用し、他者との交流を大切にした教育活動を今後も継続して取り組む。
- A L Tを活用した外国語教育は、児童生徒のコミュニケーション能力の向上に大変効果的である。また、多文化理解の機会を得るとともに、自国文化の再発見にもつながるなど、国際理解の一助となる。グローバル人材の育成が必須となっている現代において欠かせない教育となっている。A L Tの活用については、更に研究を深めていく。
- 各学校における特色ある学校教育の一つに、ふるさと教育があり、総合的な学習の時間で、実践を積み重ねることができている。小学校では、地域の方からの協力を得て、芋の収穫、みかんの収穫、米作りなどの体験学習を行っている。また、生活科で行っている町探検では、地域にあるお店、養殖場、お寺など、直接訪問し聞き取り調査を行い、地域の方々との交流を深めることができている。授業で得た知識を深め、視野を広げる良い機会となっている。また、3、4年生の社会では「八幡浜の暮らし」を活用し、産業の興りや歴史的背景など、郷土のことを学習することができている。
- 中学校で実施している地元企業から直接話が聞ける「中学生版合同企業説明会」、2年生における職場体験や、愛媛大学と連携して実施する中学生と大学生との「カタリバ」は、キャリア教育を行っていくうえで欠かせない教育活動となっている。自分の現在と将来について考える良い機会となっている。子供たちが、将来、八幡浜及び自分の住んでいる地域を担う人材をして育つよう今後も継続していく。社会に開かれた教育課程の実施は、地域と学校が協働して取り組むことで、教育効果が得られることから、郷土（ふるさと）教育を大切にし、本市教育方針の大きな柱として、教育活動の推進に努めたい。